



長かった休校期間が終わり、ようやく通常授業が始まりました。

開校以来、本校では時間割の中に自立活動の時間を設け、「自立活動の時間」として指導を行っています。日々の実践の中から、今年度も自立活動だよりを通して情報をお届けしたいと思います。

「自立活動」について

【学習指導要領 育成すべき資質・能力を支える自立活動】

各教科等の学習 育成を目指す資質・能力

生きて働く「知識・技能」の習得  
何を理解しているか  
何ができるか

未知の状況にも対応できる  
「思考力・判断力・表現力等」の育成  
理解していること・できることをどう使うか

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養  
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか



自立活動 6区分 27項目

各教科等において育まれる資質・能力を支える

心身の調和的な発達の基盤に着目して指導

人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素

自立活動の6区分

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
-------	--------	---------	-------	-------	-----------

選択研修会①

自立活動の指導って・・・

「個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組であり、個々の幼児児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達段階等に即して指導を行うことが基本である」(学習指導要領解説 自立活動)



「自立活動の基礎・基本」が行われました。」

第1回目の選択研修は、PCを活用して行いました。自立活動の考え方について、各自で確認をしました。

参考文献 文部科学省「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動(幼稚園・小学部・中学部)」  
 全国特別支援学校知的障害教育校長会編著 下山直人監修 「知的障害特別支援学校の自立活動の指導」  
 たすくの療育 TASUC METHOD7 たすくグループ編著 齊藤宇開監修  
 参考資料 文部科学省「新しい学習指導要領の考え方」

今年度は、支援の一つである環境整備についてお伝えしていく予定です。

○児童生徒の実態に合わせ、教室環境を工夫しています。その一部を紹介します。

【物理的に分かりやすい環境】場所と活動を一致させることで、環境を知覚しやすくなる。

○活動に対応したスペースで区切られ、その場所で何をするのか分かる。



遊びをするスペースが、つい立てで区切られて分かりやすいです。

○掲示物などの刺激の統制がされている。



教室前面の掲示物を最小限にし、必要のない上部は、目隠しがされています。

個人のスペースです。



【時間の見通しがもちやすい環境（スケジュール）】

いつ、どのくらい続くのか分かるようにすることで、積極的に取り組める。

○一人一人が、必要に応じて確認できるスケジュールが用意されている。



次の活動を確認することができる場所が整備されていることにもなります。



○授業の始めに内容の進め方について全体的な見通しが提示されている。



**自活の会** （学年の職員で、児童生徒の自立活動について話し合う会です。）

6月、とある学年より・・・

Q 次の授業が分からずに廊下で迷っている生徒がいます。どうしたらいいでしょうか。

A →個別のスケジュールボードを活用してみてもはどうでしょうか。

→全ての授業ファイルに活動場所を記入して、それを自分で確認して行くのはどうでしょうか。

→まずは、教師がファイルを手渡ししてあげるところから始めて、徐々に支援を減らしていくのはどうでしょうか。



視点！  
原因はどこにあるのかと考えることです



困っている情報を共有し、手だてを話し合いました。